

1. バビロン                      2. アテネ                      3. ローマ                      4. 長安

1. インダス文明                  2. 中国文明                  3. メソポタミア文明                  4. エジプト文明

1. 大陸から伝わった稲作技術が広まる中で、収穫した稲を保存するための高床倉庫の装飾として作られた。
2. 大規模な古墳が造られる中で、亡くなった支配者の権力を象徴し、その死後を守るための副葬品として作られた。
3. 自然の力への畏敬の念を持ち、豊かな収穫やまじない、安産などを祈るための道具として作られた。
4. 律令制度のもとで、成人男性が都へ赴いて労働の代わりに納める税の一種として、全国で均一に作られた。

1. イグナティウス・ロヨラ      2. ジャン・カルバン      3. マルティン・ルター      4. フランシスコ・ザビエル

1. 專制政治                      2. 共和政                      3. 官僚制                      4. 民主政

1. これらは甲骨と呼ばれ、文字は亀の甲羅や動物の骨に刻まれた中国最古の文字である。
2. これらは粘土板と呼ばれ、文字はメソポタミアとの交易記録を記した楔形文字である。
3. これらはパピルスと呼ばれ、文字はナイル川流域の王の事績を記録したものである。
4. これらは印章と呼ばれ、文字は現在も解読されていない。

1. 唯一神アッラーを信仰し、信者同士の助け合いなどの正しい行いを説き、『コーラン』を聖典とする。

2. 救世主としてのイエスを信じ、隣人愛を説き、『新約聖書』を聖典とする。

3. 悟りを開くことで苦しみから解放されると説き、多くの『経典』を聖典とする。

4. 万物に神が宿ると考え、自然を崇拜し、特定の聖典を持たない。

1. 共和政                      2. 帝政                      3. ポリス                      4. 封建領主

1. ポリスと呼ばれる小規模な都市国家が数多く成立し、それぞれが独立して統治を行っていた。
2. 有力な王や皇帝が広大な領土を一括して支配する中央集権的な国家が形成されていた。
3. ピラミッドを建設した王のように、神の化身としての絶対的な権力を持つ個人による統治が主流であった
4. 万里の長城などの大規模な土木作業を国家の総力で指揮する、強力な皇帝による統治が行われていた。

1. エジプト文明 — 象形文字 (ヒエログリフ)      2. 中国文明 — 甲骨文字      3. メソポタミア文明 — くさび形文字      4. インダス文明 — インダス文字

1. ヨーロッパ諸国による植民地支配の際、現地の民族分布を無視して一方的に境界線が引かれたため、独立後も紛争の原因となった。
2. 第二次世界大戦後に独立を達成した際、レアメタルの産出地域を周辺国で共有するために、国際連合が新たに引き直した。
3. 民族自決の原則に基づき、アフリカの各民族が話し合いを通じて、公平に資源を分配できるよう直線の境界線を定めた。
4. 広大な砂漠や熱帯雨林において、山脈や河川などの自然の地形を正確に境界線として利用した結果、直線的な国境となった。

1. 大河からもたらされる良質な粘土を板状にし、鋭い線の組み合わせによる文字を刻んだ。
2. 川の周辺で採れる石に、主に商業活動の記録として、動物や人物の姿を彫り込んだ。
3. 占いの道具として、亀の甲羅や牛の骨を使い、そこに複雑な線を組み合わせで刻んだ。
4. 河畔に自生するパピルスという植物から紙のようなものを作り、そこに鳥や蛇などを模した文字を書いた。

1. 独裁政治を行い、広場で決定した      2. 直接民主政を行い、民会で決定した      3. 貴族政を行い、元老院で決定した      4. 間接民主政を行い、議会で決定した